

ボロブドゥール

第八十二號

赤谷慶子

インドネシアのジャワ島中部に所在する世界最大級の佛教寺院「ボロブドゥール」に魅せられ、吾は二度にわたり訪れたりき。世界遺産に登録せらるる以前、その發掘プロジェクトに携はりしユネスコ勤務の舊ユーゴスラビアの知人に話を聞く機會あり。奥深きジャングルの中より佛陀の頭部突出し、それは壓巻なりきとの由。木々や蔦を取り除きし後出づる建造物に視察團は驚嘆しけり。この大きな寺院は、古都ジョグジャカルタより四十數ぎの所に位置し、一・五萬平方メートルの總面積にて高きは三十三メートル。説明によればボロブドゥールは世界最大級のストウーパ（佛塔）にて、透かし格子狀の釣鐘の中に佛陀坐したり。なほボロブドゥールは、それ自體佛教的宇宙觀を象徴する巨大なる曼荼羅といはれ、その構造は、佛教の三界を現はしてあり。下より、人の住む俗界、その上は神と人間觸れあふ世界なる色界、そしてその上部は神のおはします無色界なりとの由。

初めてインドネシアに足を踏み入れしは一九八三年十二月なり。東京よりバリ島のデンパサールに飛び、二日滞在せり。バリは歐州よりの訪問客多き觀光地にて高級ホテル多く、もてなしの準備完璧なり。そこより古都ジョグジャカルタへ飛ぶ。インドネシア舞踊を觀に行きし夜はカウモリ飛び交つてゐるを見その數の多き事に驚く。日本においては、奥深い山のみに見らるる光景と覺ゆ。

ジョグジャカルタにてはプールサイドにワニを小さくしたるが如き爬虫類大量に歩み廻つており、われは泳ぐ事能はず。當時は觀光客用のホテルは一軒のみにて、選擇肢はなかりき。現在は高級ホテルも數件造られたる由。ボロブドゥールを觀光せし後、その眞反對にあるプラバンナンといふヒンズー教の塔あり。なほ世界遺産なり。丁度この二つの世界遺産に挟まるるやうに水の宮殿「タマンサリ」といふ離宮あり。ジョグジャカルタの初代スルタン建てたるものなるらし。

最後にジャカルタへ飛べど、空港に迎へに来てくれたる先輩、それがしのスーツケースを抱へ、車まで走りてと言ひし時は、ここはかくも物騒なりやとシヨックなりき。大都會にて、何を觀光せしや覺えなきほどに慌ただしかりき。歸路はデンパサール經由にて歸京。

二度目にジョグジャカルタを訪れたるは親友と一緒なりき。初回とは少し様子變りて、地元住民は觀光客なれしたりき。ただ、ボロブドゥールのみは相變らず大きく過去の榮光をさながらに維持したるかの如く輝きたりし。この巨大なる曼荼羅は何度訪れんとも餘りある感激をもたらすなり。

(平成三十年四月二十五日受附)